



国会請願

五月一六日(火)

第50回国会請願行動が決まりました。

日時 2023年5月16日(火)

午前10時集合

衆議院第1議員会館多目的ホール

参加出来る方、行ってみたい方、募集します。

不届県版3月号で国会請願は5月17日とお

知らせましたが、国会情勢の変化で5月16日となりました。

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山梨県本部
〒400-0047

山梨県甲府市徳行4-3-17

「平和と労働会館」

版人夫
県行
梨集
山編田
TEL 055-253-9710
Fax 同上

私たちの運動の基本方針

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると

認めること。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

女性部だより

山梨の集約状況は3月23日現在で、個人署名1262筆、団体署名40筆です。昨年の総会で確認した目標3000筆にはまだ届きません。各支部目標、県目標達成に向けて会員の皆さんのが家族、友達、知り合いにと、もう一回り広げて下さい。

富士山のように高い目標ですがみんなで力を合わせればできる目標ではないでしょうか。署名用紙は4月中に清水里枝宅に送付して下さい。

県本部総会が5月20日に予定されています。多くのみなさんのご出席をお願いします。

今年度の女性部は、「全国女性交流集会」を起点に活動を始め、映画上映に取り組んできました。県内各地で1000人を超えるみなさんが視聴し、“感動した”“素晴らしい映画だった”“もっと多くの人に観てもらいたい”“若い人に観てもらいたい”と絶賛と要望が寄せられています。第3次上映運動が提起されています。女性部も積極的に取り組んでいきたいと思います。同時に、署名目標達成にも力をあわせましょう。5月16日国会請願が予定されています。(遠藤も参加予定)。今年度の締めくくりの取り組みとして頑張りましょう!

婦人部長 遠藤昭子

千代子・上映運動

「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」は県内各地で上映運動が行われ、3月9日(木)には甲府市民会館で101人が鑑賞し、人口比で長野県に次いで全国で2位(人口809千人比1・31人、3月21日現在)に到達しました。各地で感動の嵐を呼んでいます。第3次上映取り組み(一斉地方選挙後の運動構築)を千代子の志に学んでその意義を広めて行きましょう。

「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」は県内各地で上映運動が行われ、3月9日(木)

には甲府市民会館で101人が鑑賞し、人口比で長野県に次いで全国で2位(人口809千人比1・31人、3月21日現在)に到達しました。各地で感動の嵐を呼んでいます。第3次上映取り組み(一斉地方選挙後の運動構築)を千代子の志に学んでその意義を広めて行きましょう。

「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」は県内各地で上映運動が行われ、3月9日(木)

には甲府市民会館で101人が鑑賞し、人口比で長野県に次いで全国で2位(人口809千人比1・31人、3月21日現在)に到達しました。各地で感動の嵐を呼んでいます。第3次上映取り組み(一斉地方選挙後の運動構築)を千代子の志に学んでその意義を広めて行きましょう。

「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」は県内各地で上映運動が行われ、3月9日(木)

には甲府市民会館で101人が鑑賞し、人口比で長野県に次いで全国で2位(人口809千人比1・31人、3月21日現在)に到達しました。各地で感動の嵐を呼んでいます。第3次上映取り組み(一斉地方選挙後の運動構築)を千代子の志に学んでその意義を広めて行きましょう。

「諷訪の羊かんが食べたい」

二年前、伊藤千代子の生家跡をはじめ縁の地

を尋ねるフィールドワークに参加して以来、映

画の完成を楽しみにしていましたが、全県での

上映運動が拡がりうれしい限りです。

映画を観て心の残るのは、千代子たちの獄中

での場面です。1928年3月15日の弾圧で

特高警察に逮捕され、拷問のあと拘留された市

ヶ谷刑務所未決監などのことでした。後輩塩

馬の悪化に苦しむなか肺炎を併発、たつた1人で息をひきとります。24年の短い人生でした。

「諷訪の羊かんが食べたい」は千代子が老看護長に遣した最後のことばと伝えられています。「自由になりたい、ふるさと諷訪の自然や諷訪の人々に会いたい」とどんなに希つたことでしょう。ごく普通の女子大生だった千代子のことが

身近でいとおしく思えてなりません。

1920年代後半、中国への侵略が本格化し

ようとする厳しい時代状況の中で、貧困や差別をまのあたりにし、婦人参政権、男女平等を訴

え「変革によって豊かで平和な世を創り出した」と未来を見つめ、たたかい続けたのでした。

戦後77年、千代子たちが希つたジェンダー平等を求める運動は大きく拡がり、社会を根本か

ら変革しつつあります。しかし、岸田政権下込んでからは、留置場の中庭の大木の根本の石の下にチリ紙をしのばせ情報交換、御飯茶わんの底に貼りつけた紙切れに仲間の消息などを知らせ合い、互いに励まし合う。困難ななかでも勇気を出し、知恵と工夫で不屈にたたかう姿は、生き生きとして輝いています。

しかし、「生きて帰らない」と言いつつ、思想係検事や特高によるさまよい「転向」攻撃の中で、病気になつても十分に治療をされず、心身を苛まれていく。1929年夏、ろからリューマチの悪化に苦しむなか肺炎を併発、たつた1人で息をひきとります。24年の短い人生でした。

「諷訪の羊かんが食べたい」は千代子が老看護長に遣した最後のことばと伝えられています。「自由になりたい、ふるさと諷訪の自然や諷訪の人々に会いたい」とどんなに希つたことでしょう。ごく普通の女子大生だった千代子のことが

身近でいとおしく思えてなりません。

今後は郡内(都留・大月等)市川三郷・富士川地域などでの上映が予定されています。多くの皆さんに千代子たちの思いが届けられることを期待しています。

澤富美子が着物の襟に鉛筆の芯をしのばせ持ち

て「新たな戦前」が立ちあらわれ、憲法で保障された人権、民主主義はジワジワと後退しているのかのようです。今こそ千代子らのたたかいを学び引き継いでいくことが求められています。

とりわけ政治・経済におけるジェンダー平等

これが戦争をおこさせない力であること、岸田政権の大軍拡で使われるお金は私たちの暮らしにこそ使われるべきです。日本の女性たちの貧困は深刻で、それゆえに子どもも貧困です。軍拡反対の声をあげていきましょう。

山梨では、すでに富士吉田市、甲府市、北杜市、山梨市、甲斐市、甲府南部地域で上映が行

われ、大きな感動を与えています。

今後は郡内(都留・大月等)市川三郷・富士川地域などでの上映が予定されています。多くの

皆さんに千代子たちの思いが届けられることを

期待しています。

「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」

上映実行委員 早川一子

映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」

山梨上映実行委員会ニュース 11号 2023.3.25

連絡先(実行委員長・矢崎勉)・電話 090-7230-2133



3月9日(木)甲府市総合市民会館で上映

◆遠藤昭子実行委員長の挨拶

本日はご来場くださいましてありがとうございます。上映にあたり、実行委員長の私遠藤からひと言ご挨拶をさせていただきます。

この映画は、チラシでご案内のように、戦争と無権利の時代、反戦と主権在民を掲げ闘いたおれた若き女性の真実の物語です。1925年に制定された治安維持法は、思想そのものを犯罪とするもので、当初は共産主義運動への適応でしたが、次第に知識文化人、宗教者などを思想犯罪者として逮捕し、拷問を加え弾圧してきました。多くの若き社会活動家が治安維持法の下で命を落としました。伊藤千代子もそうした活動家の一人でした。



治安維持法は1945年に廃止されました。1968年に、戦前の悪法で弾圧の被害を受けた犠牲者たちに国として謝罪し、国家賠償法の制定を求めて運動を進める組織「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」がつくれました。今回の上映は、治安維持同盟の運動の一環として取り組ませていただきました。

今日の情勢はと言えば、残念ながら千代子が生きた時代は過去のものと言えない状況です。ロシアがウクライナ侵攻を始めて1年が経ちました。21世紀は戦争のない平和な世界に!と歩み始めたはずでした。ウクライナ戦争は、アジア太平洋戦争へと拡大した、日本が行なった日中戦争と発端・経過がきわめて類似しているそうです。ウクライナ戦争を契機に世界が極端な軍拡モードになりつつあり、日本の岸田政権はすでにこれまでにない大軍拡に突入しています。時は流れても、戦争になれば尊い命が虫けらのごとく奪われていく事態は変わらない!ウクライナ戦争が実証しています。再び戦争と暗黒政治を許さない。力を合わせて声を上げていきましょう。

最後にご協力のお願いです。入口でお渡ししました封筒にアンケート用紙が入っています。ぜひ感想をお寄せ下さい。合わせて署名へのご協力と同盟への入会もご検討ください。

3/16、千代子中巨摩実行委員会事務局長中野一彦さん他中巨摩地域の同盟員4名が集いました。戸田康さんから千代子の上映を通して、この運動の母体である国賠同盟の運動づくり、中巨摩の地域では支部づくりを進めたいと提案がありました。県事務局の田中鉄夫より、甲府上映会でも中央市の方が入会され、この地域は活気づいている、各映画会場でよびかけられた「黄色い署名」集め等を意識的に進めることで、治安維持法で千代子を死に追いやった責任をいまだに国はとっていないこと、毎年国会へ提出し1000万筆に到達し、強行成立された共謀罪法などで戦前を繰り返さないよう警告する運動となっています。県内での第3次上映運動を進めるためにも、中巨摩地域での支部結成を歓迎したい、と補足説明をしました。次回の会議では具体化することになりました。初参加の中野事務局長からも国賠同盟の運動は何をするか自分も含め知られていないが、次回は学習もし、千代子の時代を繰り返さない組織づくりの必要性が語られました。(田中鉄夫)

「諏訪の羊かんが食べたい」

二年前、伊藤千代子の生家跡をはじめ縁の地を訪ねるフィールドワークに参加して以来、映画の完成を楽しみにしていましたが、全県での上映運動が拡がりうれしい限りです。

映画を観て心の残るのは、千代子たちの獄中での場面です。1928年3月15日の弾圧で特高警察に逮捕され、拷問のあと拘留された市ヶ谷刑務所未決監などでのことでした。後輩塩沢富美子が着物の襟に鉛筆の芯をしのばせ持ち込んでからは、留置場の中庭の大木の根本の石の下にチリ紙をしのばせ情報交換、御飯茶わんの底に貼りつけた紙切れに仲間の消息などを知らせ合い、互いに励まし合う。困難ななかでも勇気を出し、知恵と工夫で不屈にたたかう姿は、生き生きとして輝いています。

しかし、「生きて帰さない」と言いつつ、思想係検事や特高によるすさまじい「転向」攻撃の中で、病気になっても十分に治療をされず、心身を苛まれていく。1929年夏ごろからリューマチの悪化に苦しむなか肺炎を併発、たった一人で息をひきとります。24年の短い人生でした。

「諏訪の羊かんが食べたい」は千代子が老看護長に遺した最後のことばと伝えられています。「自由になりたい、ふるさと諏訪の自然や諏訪の人々に会いたい」とどんなに希ったことでしょう。ごく普通の女子大生だった千代子のことが身近でないとおしく思えてなりません。

1920年代後半、中国への侵略が本格化しようとする厳しい時代状況の中で、貧困や差別をまのあたりにし、婦人参政権、男女平等を訴え「変革によって豊かで平和な世を創り出したい」と未来を見つめ、たたかい続けたのでした。戦後77年、千代子たちが希ったジェンダー平等を求める運動は大きく拡がり、社会を根本から変革しつつあります。しかし、岸田政権下「新たな戦前」が立ちあらわれ、憲法で保障された人権、民主主義はジワジワと後退しているかのようです。今こそ千代子らのたたかいを学び引き継いでいくことが求められています。

とりわけ政治・経済におけるジェンダー平等こそが戦争をおこさせない力であること、岸田政権の大軍拡で使われるお金は私たちのくらしにこそ使われるべきです。日本の女性たちの貧困は深刻で、それゆえに子どもも貧困です。軍拡反対の声をあげていきましょう。

山梨では、すでに富士吉田市、甲府市、北杜市、山梨市、甲斐市、甲府南部地域で上映が行なわれ、大きな感動を与えています。

今後は郡内（都留・大月等）市川三郷・富士川地域などでの上映が予定されています。多くの皆さんに千代子たちの思いが届けられることを期待しています。

「わが青春つきるとも・伊藤千代子の生涯」上映実行委員
早川一子

県実行委員会開催のご案内

◆日時：4月24日(月)午後2時～

◆会場：事業協ビル5階会議室



2023・5・20 13:30~16:30

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟山梨県本部

一、私たちをとりまく情勢

自公等支配勢力は、ロシアのウクライナ侵略を好機とばかりに、戦争できる国づくりにまい進。憲法違反の敵基地攻撃能力をつけることを閣議で正当化し、軍事費2倍増、防衛3文書を国会終了を待つて決めてしまいました。憲法9条改憲政策に力を入れ、特定秘密保護法、共謀罪法、戦争法、土地規制法、デジタル庁設置など、個人情報を国家や資本の管理下に置くという、名を変えた治安維持法体制の復活をめざしています。

私たちは、提起されている諸課題達成に全力でとりくみ、再び戦前の暗黒政治を繰り返させない運動を強化していきます。5月からの第三次「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の上映運動を成功させ、支部活動の発展の中からせめぎあう時代にふさわしい県同盟の前進を確立します。本大会の任務は①一年間の諸活動の成果と教訓を明らかにして、当面の活動方針を練り上げること、②2023年度（2023・4・1～2024・3・31）の役員を選出

はじめに



治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山梨県本部

〒400-0025
山梨県甲府市朝日5丁目7-2
山梨平和と労働会館内

版人夫
県行鉄
梨集中
山編
Tel 055-253-9710
Fax 同上

私たちの運動の基本方針

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、國は、戦前の治安維持法が人道に反する惡法であると認める。

三、國は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

1、反動攻勢の時代に立ち向かう
強大な県同盟を建設しよう

世界は今、コロナと
プーチンの侵略戦争と
いう危機の中で、難民、
失業、倒産、物価高が
格差と貧困を広げ、國
民に多大な苦難をしい
ています。日本政府は、
日米軍事同盟強化、憲
法9条に自衛隊を書き
込み「日本が戦争でき
る国から戦争をする国」
にかえ、敵基地攻撃能
力や核兵器の共有にま
で言及する危険な情勢
となっています。「國
民の誇り富士に砲弾を
打ち込むな」の北富士

共闘会議は、3月末演習場が契約更改を迎える中、米軍のインド太平洋地域で実施する軍事作戦に即応する出撃・

訓練拠点となり、米軍と自衛隊の軍事訓練の日常化とミサイル部隊の配備計画報道のある演習場契約更改をしな

いで北富士演習場全面返還・平和利用の県是の実現に力を尽くすことを求める抗議と要請を3月7日行いました。

また、甲府市上空での米軍機の危険な空中給油訓練、県内各地での低空飛行訓練など危険な戦争準備行動にたい

して、これを止めることを求める世論が高まっています。

2、山梨260人会員目標の達成、新たに4支部建設で8支部体制の確立、署名3000筆の達成で全国会員2万人、署名36万筆実現の一里塚を

再び戦争と暗黒政治を許さない旗を受け継ぐ私たちは、この戦争勢力に対峙できる力をもつとつけなければなりません。自公と維新・国民民主の大政翼賛政党に吸い込まれそうな野党第1党立憲民主党への国民の願いは失望となりました。市民となりました。野党の共闘強化があらためて課題となっていました。県同盟においては、県同盟においては、県同盟においては、県同盟においては、県同盟においては、

めることは急務です。すべての市町村に支部を建設し、再び暗黒政治を許さない大きな流れを地域からつくります。

7月の参院選挙で、自公維新国民党などが改憲発議可能な多数を占め、この間開会を阻止してきた「憲法調査会」が、昨年の国会からは維新と国民民主の要求で予算審議の最中でも繰り返し開かれ、衆院では通常国会で過去最多となり、改憲をとり

まく情勢はかつてなく危険なものになっています。改憲策動を阻止するため、中央は会員2万人、300支部、36万筆をめざしています。県同盟は260人、3000筆、4支部の自主目標の早期達成をめざします。新たに河東、韮崎、南アルプス、峡東の4支部を結成し8支部とすることを決議した総会から1年が経ちました。甲斐市での映画「千代子」

人です。女性部は「全国女性交流集会」への参加で女性部の活動と意義が明らかとなり、報告会と「不屈（県版）」への投稿で再スタートをきりました。

青年部は、議員役員

3、治安維持法下で「闘い・抵抗」した人々を発掘し、その事跡を「歴史の記憶遺産」として後世に伝えよう

「戦争をする国づくり」をめざす潮流は、侵略戦争も治安維持法による弾圧も正当化し、反戦・平和、国民主権の明るい社会をめざした国民を弾圧した誤りを認めません。植民地主義や侵略戦争に反対し、抵抗した眞の愛国者、治安維持法等の弾圧の犠牲者に歴史の光をあて、「再び戦争と暗黒政治を許さない」運動の柱にするこ

とは国賠同盟の使命です。山梨では獄死者4人が同盟の「国家権力の犯罪」に掲載されています。勝利した東京市電ストライキの争議団長津野勇は「抵抗の群像」第3集に収録され、民医連の初代会長と結婚した須田若江、4・16事件の裁判で検事を糾弾した竹田哲郎は第2集に載っています。これら山梨県人の闘いを学ぶことは、

同盟の世代継承にとつても、同盟の仲間を増やすうえでも重要です。津野勇の墓前祭の再開や、メーデー碑前祭での紹介や学習部の教材としたりして会員や県民に知らせてていきます。「闘いと抵抗の歴史」先人と犠牲者の発掘・調査、名簿化が求められています。大月市にお墓があり山口県出身の阿部淑子について顕彰要求がありました。

「歴史の記憶遺産」と

4、「戦争させない・9条壊すな！19日行動」と諸団体の行事に参加！ 黄色い署名目標達成にとりくもう

私たちが戦前の歴史を深く学び、「再び戦争と暗黒政治を許すな！」の同盟旗を高く掲げ、市民と野党の共同の運動に参加することは、年々重要さを増しています。昨年度は「戦争

させない9条壊すな！」19日行動に、黄色い同盟旗が毎月翻りました。今年度は更に、多くの会員の参加が求められている情勢です。署名は「黄色い個人

に加え「憲法改悪を許さない全国署名」にとまりました。今年度は「大軍拡・大増税NO！」が加わります。「革新懇」「市民連合やまなし」「9条の会」

員会」「憲法共同センター」「安保破棄実行委員会」「年金削減違憲訴訟支援する会」等に結集し奮闘しました。

賠償法の制定を求める請願署名への協力を呼びかけ目標達成に全力をあげてゆきます。

署名 「青い団体署名」

署名 「総がかり行動実行委

安維持法犠牲者に國家

一一。二の間の活動と運動方針

1、関プロと支部の活動

昨年は同盟関プロが清里伊予ロッジで開かれ57名（山梨14名・埼玉8名・千葉6名・東京8名・神奈川8名）が参加し交流しました。各県とも伊藤千代子の映画「わが青春つきるとも」の上映、会員

拡大の前進などを中心に「今こそ同盟の出番」であることに確信を持つ内容でした。どの県もいろいろな困難を抱えている中で、東京都の1300人目標達成、千葉県の体制確立を土台にした20年以降確実な組織づくり」を田中

実な組織拡大が進んでいる報告が注目されました。戸田康さんが「女性部確立」「わが青春つくるとも」上映運動」「地域に根差した組織づくり」を田中

鉄夫事務局長が報告しました。戸田康さんが講演も好評で、今後活動に展望を与える集会でした。

2、国会請願署名の活動 一 3000筆目標の達成

今年度の到達は3月31日現在黄色い個人署名1,303筆、青い団体署名40筆でした。会員個人のとりくみ、団体への申し入れ

では、共産党の各支部への働きかけが新たな取り組みでした。活動のなかでのとりくみなどを行ってきました。団体への申し入れ

ですが、何よりも会員が取り組むことが不可欠であり、最も大事なことです。支部活動のなかにしつかり位置づけ、会員が積極的に取

3、地方議会請願への請願活動

地方行政に対しての対自治体要請キャラ今年度の方針を踏まえ、バンに参加します（全

2、共産党議員を中心とした議員に紹介議員

になるよう要請し、地方議会への請願を行います。

3、県議会に共産党が複数議席を獲得した新しい条件の下で、県、

市町村議会への請願の在り方について党県委員会にたいして協議の

4、「千代子」上映運動

昨年1月、上映実行委員会を結成し、56人の呼びかけ人と事務局5団体（民医連・山梨健康友の会・新日本婦人の会・山梨革新懇・高退教）の体制でとりくみました。6か所の上映で鑑賞者累計は1,062人でした。アンケートには沢山「戦争だけはイヤだ」「千代子の時代を繰り返さないで！」の感想が寄せられました。人口対比

では全国2位（3月21日現在）とのことです。全国から提起されている「千代子」の第3次上映運動をしつかり位置づけ、同盟の会員拡大、署名などと一体にとりこんでいきました。

（2023年1月、7名参加）
 ・「治安維持法制定の背景、目的、内容、執行状況など」1回目（3月、12名参加）
 「なぜ9条が大切か」（なぜ9条が大切か）
 また、「今、改めて治安維持法を学びたい」という要望も出ており、じっくり取り組む学習テーマの検討も求められています。

課題は、コロナ禍でこの間、参加者から選対応、自民接近などをどう見るか」（2022年6月、6名参加）
 ・「岸田政権の軍拡・改憲の動きと私達の闘い」（9月、6名参加）
 ・「統一教会 危険な『二つの顔』」（11月、9名参加）
 ・「今日における憲法9条の意義と役割」、

定に工夫が求められます。この制約はあるものの、学習会の参加者が少ないこと、学習形態がマネリ化していることがあり、外部講師を招いての学習会やビデオ学習、県内犠牲者のあゆみの学習なども計画していく必要があります。

5、学習し行動する同盟へ、学習活動の強化を

県本部の学習会は5回開催されました。学習のテーマは、「『維新』自公政権

は、理論・運動誌『治安維持法と現代』の巻頭論文や、『前衛』掲載論文の要約、赤旗編集局の文献パンフなどから、その時どきに注目された報道や社会問題などを取り上げてきました。

6、「治安維持法と現代」の普及

（治安維持法と現代）誌は、団体への贈呈を「治安維持法と現代」を使うことになった。「治安維持法と現代」を使うことになつた。今後も普及に力を入れ、学習を通して同盟運動の前進をめざします。

7、会員拡大と県本部体制の強化・支部建設

①会員拡大

県本部役員は毎月1人に働きかけ、各支部毎月1人を増やすこと每月1人を増やすこととを役員会で決め、拡大対象者も名前を出して役員会の度に確認してきました。5月の「千代子」上映を受けて6月活動で3人が増え、8か月後の2月に2人増え、3月にも2人増え4月1日現在の会員数は225名で前大会比プラス3名、目標差マイナス35名となりました。

甲府北部支部は、成果には至りませんでしたが、毎月の拡大行動に挑戦しています。会員拡大は支部の自主目標をもち、学習など支部活動のなかで実行してゆきましょう。

②支部建設＆青年部建設

全市町村に支部をつくります。今年は河東（昭和町・中央市・甲斐市）、峡東（笛吹市・山梨市・甲州市）、韮崎市、南アルプス市の支部づくりにとりくみます。若い人の入会を促し、東京や千葉の青年部に学び結成に挑戦します。

映画化したものです。上映会には、270人の視聴がありました。また、若者に観てほしいと、市と市教育委員会の後援名義の許可をもらいました。若者の視聴には結びつきませんでした。支部では、毎月会議を開き、5人から10人の参加で12月から学習会と署名などの取り組みについて話し合いました。4月からは隔月での会議となりました。

現状を開拓するためには郡内5ブロック（上野原市、大月市、都留市、富士吉田市、南都留郡）にそれぞれ活動家を配置することが必要になっています。しかし、活動家の高齢化や体調不良などで直ちになってしまいます。適任者をリストアップすることが困難になつた。

され、携問によつて命を落とした本当の話を映画化したものです。

【郡内支部】

年内支部は2021年12月12日に第5回総会を開催しました。

しかし、その後、支部長が亡くなり、副支部長が地区外に、事務局次長が県外に転居し指

ました。残った事務局長は他団体の責任者も兼ねていてことから、

以来、会議の開催や系統的な活動の遂行が困

難になっています。

ま映画「わが青春つき生涯」が大月市と都留市の共同で上映することが決まっています。上映日時は大月市議会議員選挙の日程の関係で具体化していませんが、両市の担当者の話し合いがようやく始まっています。この「伊藤千代子」映画上映の機会に国賠同盟の活動について宣伝組織活動を強め、現状打開を図ります。

【北杜支部】

1 映画「わが青春つきの生涯」制作権を二口購入して、9月30日に北杜市の長坂ステーションホールで上映会を開催しました。伊藤千代子は、昭和の初め、思想そのものを犯罪とする治安維持法で逮捕

ました。

【甲府北部支部】

甲府北部支部は2022年3月27日に結成総会を開催。会員55名中、出席者14名、メッセージは20名から寄せられ、参加者全員からひとこと治維同への思いを話して頂き、

ています。

こうしたなかで、い

なごやかな総会でした。
支部長に加藤啓二弁護士になつて頂き、事務局4名でスタート。毎月1回会議を開催、まずは署名と会員拡大について話し合い、名前を出して二人一組で訪問活動を行うことを確認し努力しました。

会員さんが多いので新聞の発送をやめて、分担を決めて手配りすることにしました。また、会費集めも組を作つて訪問し、顔の見える支部活動ができる10%を集めることができました。

一年間ぶり返つてみれば支部独自の活動は何もできませんでした。学習会は全部県本部の学習会に参加で終わつてしましました。

今年こそは支部独自の活動を大勢の参加で、楽しい活動を考えてい

ます。

支部長に加藤啓二弁護士になつて頂き、事務局4名でスタート。

【甲府南部支部】

支部総会を10月2日に開催。映画上映を中心課題にとりこんで来ました。映画の上映は3月9日となり、学習会の実施は出来ませんでした。本期から支部総会を県の直後に実施する方向です。

事会メンバー+理事で開催)、顧問(総会の議決により会長が委嘱)。

事会メンバー+理事で開催)、顧問(総会の議決により会長が委嘱)。

事会メンバー+理事で開催)、顧問(総会の議決により会長が委嘱)。

9、諸行事と各団体との連携

8、女性部のとりくみ

女性部は新体制になりました。

最初は女性部独自の活動が見えず、「女性部は必要か?」という

状況にもなつていまし

たが、「全国女性交流集会」に参加する中で

女性部の必要性と方向性が見えてきました。

“女性の地位向上”は

女性が主体となつてと

りくむ問題、同盟の女

性部の活動「学習会・ジエンダーパー平等」を中心に行なつていきます。

また、「女性部だより」の発行に代わり「不屈鼎版内の女性部コーン」で発信を実践していま

*終戦記念日行動：

8月15日に各地でビラまき①甲府駅南口で11人②北杜11か所を5人③郡内9団地を5人④河東常永団地で3人

「日本高齢者大会」「年金裁判を支援する商統一メーデー」「市民連合やまなし総会」「山梨革新懇總会」「憲法集会」への参加

で黄色い署名青い署名を手放さず情勢を切り開く運動を粘り強くす

めています。

「日本高齢者大会」「年金裁判を支援する商統一メーデー」「市民連合やまなし総会」「山梨革新懇總会」「憲法集会」への参加

*11日行動：毎月甲府駅北口午後4時～5時までビラまき「9条守れ」「改憲させない」

*19日行動：毎月19日、甲府駅南口午後6時～7時：「戦争させない・9条守れ」

*年1回の行事：他団体との連携、連帯。

「8・15を考える県民のつどい」「9・2

6愛宕山無名戦士碑前祭」「山梨母親大会」「愛宕山合祀追悼会」

三．県本部の財政活動の安定強化のために

財政について

前年度会計年度を世間一般的の4月～3月に改正しました。支部財政担当者と本部担当者の連絡連帯を強め、定期的に財政対策委員会を行うことになりましたが前年度は十分機能しませんでした。県本部では手数料受け取り人払いの振込方式を取っています。カンパは、本部から年末カンパとして提起されていますが、総会終了後「不届」県版で振り込み用紙を入れての依頼を行っていました。今期は、甲府南支部と甲府北支部が対面方式の集金を行ない、それぞれが100%の集金率を達成したこととは特筆されます。中央に合わせた会計年

度の意義を普及し、会費は年初に納める会員の気風を育て、中央への早期納入と県本部・支部の活動を十分支える財政を確立します。これまでのカンパについては、年度当初に会費と一緒に払うことを提起します。

2023年度スローガン

第35回山梨県本部総会

- 一、国民要求実現の先頭に立ち大軍拡・大増税・改憲を阻止しよう
- 一、3000筆署名目標を今年度こそ達成しよう
- 一、260人会員目標を今年度こそ達成し世代継承をすすめよう
- 一、河東（昭和町・中央市・甲斐市）、峡東（笛吹市・山梨市）、韮崎市、南アルプス市に支部を結成しよう
- 一、女性部は“女性の地位向上”を基軸にジェンダー平等にとりくもう
- 一、青年部確立で関ブロと交流し学びと運動の若返りにとりくもう
- 一、不屈のたたかいを発掘し「歴史の記憶遺産」を受け継ごう

特別決議(案)

岸田政権の憲法蹂躪を許さず、新たな「戦前」にしないために民主勢力と立憲野党の共同へ全力を挙げよう。

岸田政権は5年間で43兆円の大軍拡をすすめ、敵基地攻撃能力の保有によって日本を米軍の戦争に巻き込む道をすべての政策に優先させる、かつてない危険な道をひた走っています。岸田政権はウクライナに対するロシアの侵略は明日のアジアの姿と描き、一切の外交努力を投げ捨てています。いま必要なのは「絶対に戦争をしないための外交」であり、すべての政治勢力はその努力でこそ力を合わせるべきです。

日本経済は新自由主義の強行によってかつてなく弱体化し、国民生活は困難に直面しています。いま、物価高騰に負けない賃上げ、それに必要な中小企業支援による全国一律最低賃金1500円の実現、消費税減税とインボイス中止、子ども医療費と学校給食無償化、大学授業料、教育費の負担軽減など、経済の立て直しと国民負担の軽減、社会保障の充実など、やるべき課題は山積しています。43兆円の大軍拡はそれらの課題をすべて無視することしか成り立ちません。

原発の新增設、老朽原発の延命と再稼働は、福島の原発事故に真摯に学ぶ立場からは決して許されません。地球温暖化対策とエネルギー自給率向上のために、必要な再生可能エネルギー導入を急ぐべきです。さらに、食糧自給率の向上へ、農林漁業への基幹産業にふさわしい支援策が強く求められています。

安倍・菅政権に続く学問の自由に対する侵害や公共電波に対する政府の介入は民主主義と平和の土台を突き崩すものであり、決して許されません。

平和と民主主義、国民生活を守る立場からの願いに背を向け、新たな「戦前」を作り出す危険な政治は直ちにやめさせなくてはなりません。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、戦前の歴史に学び、二度と戦争をさせないためにも治安維持法犠牲者への補償を民主勢力の共通の課題とする意義を明確にし、平和を守るために全力を挙げます。

以上、決議します。

2023年5月20日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 第35回山梨県本部総会